

あそ あそ ば かんが  
みんなが遊べる遊び場を考えよう！



都では、「バリアフリー日比谷公園プロジェクト」に基づき、日比谷公園の整備を進めています。プロジェクトでは、都民の皆さんと進める公園づくりの一環として、誰もが楽しめる遊具をこどもたちと一緒に考え、設置することを予定しています。

今年度、「日比谷公園みんなで考える遊具プロジェクト」として、多様な特性により特別な支援を必要とするこどもたちを対象に公募(10名)を行い、ワークショップを開催いたしました。

ワークショップでは、遊具体験やデザイン体験等を通して、こどもと保護者から意見や感想を伺いました。

第1回

あそんで、わかる！

ゆうぐたいけん

遊具体験

令和7年12月13日(土)

13:30~15:30

砧公園で、ユニバーサルデザインに  
配慮した遊具の体験

第2回

あそびから、はっけん！

じゆう あそ たいけん

自由遊び体験

令和8年1月18日(日)

14:00~16:00

室内で、様々な要素が詰まった  
遊び体験

第3回

あそびばを、かんがえる！

たいけん

デザイン体験

令和8年2月15日(日)

14:00~16:30

日比谷公園で、ユニバーサルデザインに  
配慮した遊具等の体験、  
これまでの体験を踏まえた遊び場づくり体験

ワークショップの進め方(全体の考え方)

こどもたちに、遊具や様々な遊びを体験してもらった後、こどもと保護者から意見や感想を伺い、みんなで話し合いをしました。

※ワークショップの実施にあたっては、理学療法士や専門家等による個別支援のほか、手話通訳などの情報保障を行いました。

また、意見や話し合いの内容を分かりやすく共有するため、グラフィックレコーディングを活用しました。

体験して、はなす

第1回 遊具体験 @砧公園

第2回 自由遊び体験 @室内



体験を踏まえ、表現する

第3回 デザイン体験  
@日比谷公園

第1回

# あそんで、わかる！遊具体験

ユニバーサルデザインに配慮した遊具を備えた公園で、こどもたちに自由に遊んでもらい、こどもや保護者から、既存製品で遊んだ感想や遊び方等についての意見を聞かせてもらいました。

ベンチで  
ひとやすみ



一緒に遊べるの  
って楽しいね

ドレミの音階を  
奏でられるね



シートがあると  
やわらかいし  
こわくないよ



たいけん  
体験する  
@砧公園



ぐるぐるまわったり  
ゆれる遊びは  
みんなに人気



どのブランコに  
しよう？  
安心できる  
タイプも良いな



第1回

# あそんで、わかる！遊具体験



遊具につかむところや  
背もたれがあると  
安心して遊べる



遊具以外にも、  
公園でいろいろな  
遊びや楽しみ方が  
できるといいね



## はなす @砧公園

一緒に遊具で遊ぶことで、  
こども同士の自然なやり取り、  
配慮が生まれていた  
ex)「ゆっくり回してあげよう」



多種多様な遊具が  
公園にある意味を感じた

音を楽しむ遊具では、  
目でも感じられる仕組みが  
あるとみんなが楽しめる



参加者の意見や  
様子を分かりやすく  
絵や言葉に  
まとめて共有したよ

第2回 あそびから、はっけん！  
自由遊び体験

遊具以外の様々な遊びや体験を通じて、こどもや保護者から、遊んだ感想や、こどもたちが興味を持つ遊びの要素等についての意見をうかがい、全体で意見を共有しました。

おこもり感が安心  
ふわふわ、ぷにぷにの  
感覚も新鮮



木の香りや  
花のいい匂い

工作に熱中  
耳からも身体からも、  
叩く音を感じる



いろいろな音がするね



たいけん  
体験する  
@室内



いっしょに遊ぼう  
昔遊びだよ

バランスをとりながら  
移動したり他の遊びをす  
るのって楽しいね



お絵描きたのしいね  
大きなボードだと  
自由な姿勢で描けるよ

第2回 あそびから、はっけん！  
自由遊び体験



雨の日でも安心して  
遊べる屋根付き・  
屋内型の遊具  
があると魅力的

寝そべったりも  
できるようなエリアが  
あったらいいと思う



こころを落ち着かせる  
場所があると安心

自分に合った難易度や  
遊び方が選べると良い



障がいの有無によらず、  
皆と共有できる遊具や  
集まる場所があると嬉しい

サポートの方が  
いてくれると、安心して  
気後れなく参加できた



車いす利用者や保護者の  
遊具を体験した後の動線等、  
考慮した構成にしてほしい



音が出たり、体全体で  
刺激を感じられる遊具が  
あると良いと思う

はなす  
@室内

遊び方を自分で探せる  
余白があると、何度も  
遊びに行くようになる  
と思った



第3回

# あそびばを、かんがえる！ デザイン体験

日比谷公園で「だれもが遊べる遊具」体験会に参加し、砧公園で体験した遊具とは異なる遊具を体験しました。令和7年度最後となる第3回では、これまでのワークショップを振り返り、こどもたちが保護者とともに、「こんな遊具や遊具広場があったらいいな」という思いを、工作を通じて表現しました。



みんなで  
びよんびよん楽しいな

座りながら遊べる  
仕掛けがたくさん

## 日比谷公園で、だれもが遊べる遊具体験

きょうだいで一緒に  
遊べる公園が  
増えるといい

遊び方を見守る  
大人の目があると安心

ひょうげん  
**表現する**  
@日比谷公園

いつもより自発的な行動が  
見られて楽しそうだった

利用者同士譲り合うようなゆとりや  
気持ちが自然にわくような仕組みが  
できると良い

たくさんのサポートがあって、  
いつもより遊びの幅が広がった





今年度のワークショップでは、「だれもが楽しめる遊具」をテーマに、様々な特性を踏まえた視点から、こどもたちが実際に遊具を体験しながら感じたことや、遊び場についての思いを共有しました。あわせて、保護者や専門家等の支援者の方々にもご参加いただき、多くの意見をいただき、みんなで共有することができました。

引き続き、こどもたちと一緒に日比谷公園の遊び場について考えるとともに、別途実施した「だれもが遊べる遊具」体験会でいただいた意見等とあわせ、今後の遊具広場整備の参考とさせていただきます。



ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！